



産業の振興を図り

基礎力のある都市に

市長 小笠原 喜郎



明けましておめでとうございます。皆様にはよいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市政にご理解とご協力をいただきましたことをお礼申し上げます。

今年も引き続いて財政再建、同和対策、教育施設の充実、企業誘致、福祉の充実などを重要な柱として、山積する懸案事項に心を新たにしていこうとこれまで以上に精力的に取り組めます。

まず、大事業である小集落地区改良事業は、市民の皆様のご協力を得て、順調に進んでおりますが、法の期限が平成三年度で切れますので、本年度中に概ね完成させたいと考えております。

永年の課題である後免町の活性化と中心市街地の形成は、綿密な都市計画を前提とした百年の大計とも言えるものであります。今年その計画の最初の骨格案を作成すべく、現在詳しい状況調査を行っております。田園都市である本市の基幹産業は農業であります。その農業を取り巻く環境は、外圧等もあつて年々厳し

さを増しております。そこで、基盤整備や土地改良事業を進め、経営の近代化や多角化による強化を図ってまいります。

また、公害のない近代的な企業の誘致に全力を挙げて取り組み、働く場所のある、基盤のしっかりした都市づくりを進めていかなければならないと考えております。

廃棄物処理行政の中で、不燃物最終処分場とし尿処理場建設の問題は、市の現状から見てもその対応が急がれるところでもあります。現在重要課題として、本年中にめどをつけるよう取り組んでおります。

ご要望が多い文化会館については、その構想をなるべく早く具体化し、皆様にお示しできるようにしたいと思います。

年の始めにあたり、市民の皆様の一層のご協力をお願いし、併せて今年も皆様にとってよいお年でありま

すように祈念いたします。

新年

賀

謹



二十一世紀に向けての 都市基盤の整備を

議長 山本 昇

市民の皆様、明けましておめでとうございます。一つの時の区切りを越えて、望んで新しい年を迎えられたことと思います。時の流れの中で区切りがあるということは、私たちの生活を整える大きな助けとなります。そこで気持ちを新たに、再出発する機会があるからです。

昨年は、市制施行三十周年記念事業が、市民のそれぞれの分野での英知とご努力により実施されました。とに深い感銘を受けました。また、世界では、天安門に始まり、「ベルリンの壁」崩壊、そしてルーマニアの民主改革と、目まぐるしく動いた年でした。

今年、二十世紀最後の十年を迎えて、これまで経験したことのない経済、社会の新たな潮流に洗われ、都市の変動過程に一層拍車がかけられると思われ、日本の都市に、暮らしの豊かさ、ゆとりを楽しむ生活拠点の形成を目指して、新たに二十一世紀都市のハード、ソフト両面にわたる高度な社会的生産・生活基盤の整備を進めなければなりません。

幸い南国市は、高知自動車道、航空路があり、また今年、陸、海、空の玄関を直結する高知東部自動車道

が新規採掘されるなど、高知県の高速交通体系において重要な位置にあり、大都市との時間的距離が著しく短縮されました。本市の基幹産業である農業について考えてみても、輸送コストの軽減、鮮度の維持など、高速交通は新しい時代を運ぶ開発の光を与えてくれます。この農業は、最も重要な産業であり、生産地形成を真剣に考えなければなりません。

また、南国市は文化の都市として発展しなければなりません。昨年末、県は合衆国ワシントン州立大学の分校を誘致する計画を検討していく考えを報道しました。貿易摩擦解消のため、また地元へ重い負担がかかるなど、諸々の問題はありますが、大学は地域の発展にとって貴重な資源です。住民が利用できる開かれた学習の場であれば、協力態勢を整えてみたいものです。いずれも市民の皆様のご知恵と工夫、理解と協力が不可欠であり、議会といたしましても課せられた責務を自覚し、努力する所存であります。

今年も皆様にご多幸が訪れますよう心からお祈りし、新年のごあいさついたします。